海外安全対策情報（２０２６年１月～３月）
（カンタベリー地域）

※ ＮＺ国内全体の治安情勢については，在ニュージーランド日本国大使館の海外安全対策情報を御参照ください。

１　カンタベリー地域

（１）一般治安関係

夜間における窃盗、特にクライストチャーチ市内のガソリンスタンド、コンビニエンス・ストア等でタバコや現金を狙った強盗事件が多く発生していますのでご注意ください。

在留邦人宅を含む空き巣等の被害も報告されており、住居においては、防犯ベルを設置するなどの自衛手段を講じるとともに、日頃から隣人との交流を図る等して、安全対策に心掛けることが必要です。また、少々の外出や不在時も確実に施錠するようにしてください。

飲酒運転による事故被害、飲酒を伴うバーでの暴力事案及び深夜路上での外国人等に対する暴行事件等が発生していますので、注意が必要です。

また、車上荒らしが多発しています。車を駐車する際は、車内に物を放置せず、かつ、人通りの少ない場所に駐車しないことなどに留意してください。

（２）一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

ア　ＮＺ警察が発表した２０２６年１月～２０２６年３月のカンタベリー地域の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数は１，６７９件と前年同期と比較して１６．９％減少しています。主な犯罪種別の内訳は以下のとおりです。

殺人関連	６件（前期比	２０．０％増加）
傷害関連	３１３件（同	１３．６％減少）
性犯罪関連	５０件（同	１７．１％減少）
強盗関連	１４件（同	０．０％）
空き巣関連	８２件（同	７．９％減少）
窃盗関連	３５６件（同	３９．６％増加）

イ　最近の殺人・強盗等凶悪犯罪の事案

２０２６年３月２７日（金）午後７時３０分頃、クライストチャーチ市ホーンビー地区メインサウスロードの小売店に覆面の４人が押し入り物品を強奪しました、その際、店員が腕を骨折する強盗傷害事件が発生しました。

ウ　邦人が巻き込まれた事件・事故

２０２１年５月３１日夕方、クライストチャーチにおいて、在留邦人２人（未成年）が暴行に遭う被害が発生しました。なお、犯行時、犯人はアジア人に対する差別的な発言をしています。

（３）テロ・爆弾事件発生状況

２０１９年３月１５日（金）午後１時４５分から午後２時１５分の間、クライストチャーチ市内の２か所のモスク内外で男が銃を乱射し、多数の死傷者が出ました（犯人は

逮捕）。また、２０２１年３月４日には、同襲撃事件の攻撃対象となったクライストチャーチ市内の２か所のモスクに対して、１５日に車爆弾を含むテロ攻撃をオンラインで予告したとして、男性２名が逮捕されました。

ＮＺ警察は、依然としてテロ警戒態勢を強化しています。不測の事態に巻き込まれないよう以下の対策に努めてください。

ア　最新の関連情報の入手に努める。

イ　次の場所は特にテロの標的になりやすいことを十分認識し、これらの場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知した際には速やかにその場から離れる。

モスク及び教会等の宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設（特に軍、警察及び治安関係施設）、観光施設や観光地周辺の道路、コンサート会場、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館

ウ　コンサート会場、スポーツ競技場など多くの人が集まる場所を訪れる際には以下の点に注意する。

・会場には時間より早めに入る、終了後はある程度時間が経ってから退出するなどして、人混みを避けるようにする。
・セキュリティが確保されていない会場の外側や出入口付近は特に危険であり、こうした場所での人だまりや行列を避ける。
・不測の事態の発生を念頭におき、会場の出入口や非常口、避難の際の経路などについてあらかじめ確認しておく。
・周囲がパニック状態になっても冷静さを保つように努める。

エ　銃撃、爆弾等の事案に遭遇した場合には、以下のとおり冷静に行動し、警察官等の現地当局の指示があればそれに従う。

・爆発、銃撃の音を聞いたらその場に伏せるなど直ちに低い姿勢をとる。
・頑丈なものの陰に隠れる。
・周囲を確認し、可能であれば、速やかに低い姿勢を保ちつつ安全なところに退避する。閉鎖空間の場合、出入口に殺到すると将棋倒しや２度目の爆発などの被害に遭うことがあるので注意する。

（４）日本企業の安全に関わる諸問題

特にありません。

（了）